

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

別紙3

公表：令和 5年 3月 1日

事業所名

児童発達支援センターぱぶら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境 ・ 体 制 整 備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	20	1	・クラス以外のスペース（遊戯室、廊下、3階等）も上手く使いながら、広いスペースを確保している	・あそびのコーナーを工夫しながら、お子さんたちが十分遊べるスペースを確保していきます。 ・今後もグループ活動を取り入れながら、小集団で活動できるスペースを確保していきます。
	②	職員の配置数は適切である	20	1	・子どもの出席状況を見ながら、その都度職員配置を検討している	今後も安全面に配慮しながら、状況に合わせて補助が入るようにしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	21	0	・視覚ツールを活用している	日々の流れをある程度固定することで、お子さんたちが見通しをもち、行動できるよう支援していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	21	0	・分散化して、十分な空間を作っている ・常に換気をし、室内の清潔を保てるよう心掛けている	今後も必要に応じて清掃・消毒を行い、清潔で心地よく過ごせる環境を整えていきます。
業務 改 善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	19	2	・全体研修、各クラス会議が月1回行われ、振り返りができる	職員会議では、その月のねらいを決め、職員全員で話し合い意識統一を図っています。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	21	0	・年1回、保護者・職員に対し、評価を実施している	今後も保護者の意向、職員の意向をまとめて改善していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	20	1		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	21		福祉サービス第三者評価を受審していません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	21	0	・月1回職員研修を行い、資質の向上につなげている。 内容を担当制にしており、それぞれが勉強する機会が設けられている	緊急で対応すべき事案に関しては、早急に会議を実施し、検討していきます。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	21	0	・面談を行い、子どもたちのことについて聞いている	管理者や主任等とも相談しながら、支援計画の作成にあたっています。

	(11) 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	21	0	・写真やカードの活用 ・マカトンサイン ・各クラスに1ヶ月のカレンダーを掲示している	今後も写真カードやマカトンサインを活用していきます。
	(12) 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	21	0		
	(13) 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	21	0	・各クラスごと話をしている	お子さんのあらわれをその都度確認しながら、計画に沿った支援が行われているかを検討していきます。
	(14) 活動プログラムの立案をチームで行っている	21	0	クラス会議にてプログラムの作成にあたっている。	
適切な支援の提供	(15) 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	21	0	・いろんなあそびを取り入れるように工夫している ・引き続き感染対策によるクラス活動や行事の見直し、改善に努めている ・子どものあらわれによってプログラムの内容を変更することもある	季節の行事など、小集団での活動を取り入れながら、だれもが楽しめる内容を設定していきます。
	(16) 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	21	0		個別活動や小集団活動に取り組んでいます。
	(17) 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	21	0	・毎朝クラスリーダーより、連絡事項があり配置図等、詳細を見ながら確認把握している ・初めての活動については、数日前からクラス職員間で話し合いを行っている	
	(18) 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	19	2	・各クラスごとで振り返っている	・支援内容で気になる点は、管理者や主任等に報告し、情報共有を図っています。 ・勤務体制等で打ち合わせに参加できなかった職員に対しては、翌日に伝え、情報共有していきます。
	(19) 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	21	0	・日々の記録を確認しながら気になる行動が見られる時にはその都度検証している	園内で検討していきたい内容に関しては、研修等の議題にあげ、共有・検討していきます。

	(20) 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	21	0	・支援計画の見直しを行い、変更点は保護者に知らせている	
	(21) 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	21	0	・児発管が参加している	
	(22) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	21	0	・保健センターの教室に参加している ・各関係機関と連携し、情報共有を図っている	
	(23) (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	21	0	・病院に出向き、ケアを行う上での指導を受けている	医療的ケアの必要なお子さんを受け入れ、医療と連携を図っていきます。
関係機関や保護者との連携	(24) (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	21	0	・連携体制は難しく見学程度である ・緊急時にはすぐに搬送できるように体制を作っている	保護者の同席のもと、ドクターのアドバイスを頂きながら日々の支援に生かしていきます。
関係機関や保護者との連携	(25) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	21	0	・移行時には必ず園に行き、子どもの支援内容等を伝えている ・移行前に交流を行い、又、移行先の職員に子どもの様子を見学してもらっている	移行後は、保育所等訪問で支援しています。
関係機関や保護者との連携	(26) 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	21	0	・引継ぎ書の作成	・学校の先生が園での様子を見学してくれます。 ・引き続き情報の共有を図っていきます。
関係機関や保護者との連携	(27) 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	20	1	・焼津市の子ども部会や児発事業所連絡会に参加している	感染症対策のため、参加できる研修会が減ってしまいましたが電話やりモート等で話し合う機会を作っています。
関係機関や保護者との連携	(28) 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	15	・感染対策のため、機会がなくなっている	個別交流は実施したが、感染症対策の為、グループ交流はできませんでした。
関係機関や保護者との連携	(29) (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	21	0	・今年度より子ども部会が立ち上がり、定期的に参加した	今後もこのような会に積極的に参加していきます。
の連携	(30) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	21	0	・お便り帳を主として共有し合い、気になったがあれば声をかけ面談を行った ・連絡帳の活用 ・送迎の際の会話 ・特に体調の変化には気を配り、保護者との連絡を密にしている	今後も保護者の方から「伝えたい」「聞いてみたい」等、話しかけやすくなる雰囲気作りを大切にしていきます。

	(31) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	18	3		プログラムとしては確立されていないが、家庭内で改善が必要となるお子さんのあらわれに関しては、ご両親と面談を行い、対応策等と一緒に考えていきます。
保護者への説明責任等	(32) 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	21	0	・保護者会や入園説明会にて行っている	
	(33) 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	21	0	・個別支援計画の作成した際保護者に内容を確認してもらい同意を得ている	
	(34) 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	21	0	・普段と違う様子が保護者から見受けられた時は、声をかけ面談を行っている ・連絡帳にて、保護者の不安が見られた際は、早めに面談を実施している	・必要に応じて、クラスごと面談や相談を実施していきます。 ・保護者からの相談ごとは、すみやかに適切に支援していきます。
	(35) 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20	1		今年も感染症対策の対応により、保護者の活動が制限されてしましましたが、少しづつ再開できるところから始めています。
	(36) 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	21	0	・保護者から相談があった場合、早めに話を聞く機会を作っている	
	(37) 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	21	0	・毎月のクラスだよりの他に、行事ごとの様子をたよりと掲示にて発信している	
	(38) 個人情報の取り扱いに十分注意している	21	0	・十分に注意して行っている ・おたより帳等は二重チェックをし声かけをしている	保護者からの相談を受けた時は、場所の配慮をしていきます。
	(39) 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	21	0	・家庭でもできる支援ツールを保護者に知らせ、家庭でも取り組めるよう働きかけている	
	(40) 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	12		見学者は随時受け付けています。
	(41) 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	21	0	・バスの添乗マニュアルを見直し、安全に運行できるよう努めている	新型コロナウイルス感染症対策マニュアルやバスの添乗マニュアルを作成し、職員・保護者に周知しました。

非常時等の対応	(42) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	21	0	・月1回訓練を実施している	今回はエレベーター使用中を想定した訓練を実施しました。
	(43) 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	21	0		定期的にお子さんの健康状態を保護者と確認していきます。
	(44) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	21	0	・アレルギーを持っている子どもには個別に配膳し、全体と混ざらないようにしている	親子教室の利用児等にも、栄養士が個別で相談に応じています。
	(45) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	21	0	・ヒヤリハットが出た際は、すぐに管理者・児発管に報告し、すみやかに全体に周知を図っている	年度末にも報告を集計し、全体に周知し、事故の再発防止に努めています。
	(46) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	21	0	・研修会を実施している ・現場で気になった点は、職員間で情報の共有を図り、適切な支援が行われているかを見直ししている	
	(47) どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	21	0	・日々の記録、個別支援計画書に記載している	・保護者に面談等で伝えていきながら、同意書にサインをいただいています。 ・どのような場合が身体拘束にあたるのか等を、職員研修にて支援の振り返りをしています。

○この「児童発達支援自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙4

公表：令和 5年 3月 1日

事業所名 児童発達支援センター ぱぶら

保護者等数（児童数） 33 回収数 33 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	1	0	0	・普段活動する教室の他に、広くて安全な園庭やトイレもとても広くで使いやすい	クラスだけではなく、遊戯室や廊下等のスペースも活用していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	31	0	0	2	・活動中を少し見ているだけではわからない ・1クラスに4人も先生がいるので、安心	今後も分散保育を行い、個別で関わる時間を作っています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30	1	0	2	・視覚で確認できるように工夫されている ・クラスの入口を抜け出てしまうのでもっと考えてほしい ・ロッカーには自分の顔写真があり、靴箱には動物のマークが貼っている。とても分かりやすくすぐに自分の場所を覚えることができた	・本人が過ごすべき場所をわかりやすく提示していきます。 ・日中活動は、写真カードにて伝えたり、個々にわかりやすい方法で伝えています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	30	1	1	1	・とても綺麗。他保護者も「ぱぶらは綺麗ですよね！」と言っていた	
	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	32	0	0	1	・こちらのニーズが的確に示され、分かりやすく作成してもらえた	丁寧なアセスメントを行った上で、計画を作成していきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	1	0	2	・とても具体的な支援内容が設定されていた ・無理のない程度で、本人が頑張るように声掛けや働きかけをしてくれる内容だった	契約時に説明していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	31	0	0	2	・見ているわけではないので分からない ・計画に沿った支援のおかげで、できることができたことが増えた	送迎時やおたより帳にて支援の内容を伝えています。

保 の 提 供	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	27	2	1	3	・毎日様々な体験や経験ができ、とても工夫されていると思う。活動プログラム以外のことでも、たくさん成長を感じる	子どもの日々の表れをみて活動を検討していきます。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	5	10	11	・コロナで他の子ども達との交流がないが、色々な交流があると刺激になって良い ・自分の子は健常児と遊ぶのは難しいと思う ・障害のない子どもたちと活動することがなくとも、今のクラスの友達と元気に過ごせていれば大丈夫	・必要に応じて個別交流を行っていきます。 ・障害のあるなしにかかわらず、子ども同士が楽しく関われる場を設定していきます。
保 護	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	1	1	4	・入園する前に丁寧な説明があった	
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	27	2	0	4	・お父さんに対しての子どもの障害特性などの説明会があるといい(お父さん同士の集まりやお父さん目線の意見会など) ・支援計画を直接手に取り、説明を受け、納得できたので計画に同意した	・必要に応じて個別面談を行っていきます。 ・行事を通して父親同士が関わっていける機会をつくっていきます。
保 護	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	18	5	3	7	・何なのか分からない ・面談の際に、とても詳しく教えていただき、理解できた。アドバイスもあり、助かった	
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況や課題について共通理解ができるか	32	0	1	0	・送り迎えの際に、先生方と話せる機会がある為、その都度伝え合っている。共通理解もできている ・怪我をしていても報告がない事がある	・おたより帳や送迎時等で子ども達の様子を知らせていきます。 ・引き続き、怪我などがあった際は、すぐにご家庭へ連絡していきます。
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	1	1	0	・先生に質問すると丁寧に助言してくれる ・面談時だけではなく、普段から相談事をするとき親身になって受け答えしてくれる	ご家族の心配事や相談事には、隨時受け付け対応していきます。

者への説明等	⑯ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	4	5	7	・コロナが緩和したら、色々情報交換できる場を作つてほしい ・コロナが流行している為、定期的に行われているおしゃべり会が中止になり、残念。	感染症の終息状況により、活動の再開を考えていきます。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	28	1	2	2	・送り迎えの際に先生と話す機会があるため、困っている事や相談はその都度できる環境。 ・その場すぐにアドバイスしてもらえるので、ありがたい。申し入れの際も、その場、または翌日すぐに対応してもらえる	
	⑯ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	1	0	2	・先生から「また何かあつたら言ってください！」と言ってもらえるので、気軽にいつでも相談しやすい	時間帯を工夫しながら少人数での参観できる機会を増やしていきます。
	⑯ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29	2	0	2	・定期的におたよりでもらっている。ばぶらだよりには、子どもたちのその月の写真も載っていて、とても楽しみにしている	・イベントがあった時は、クラスごと入口に写真を貼り、日々の様子を伝えていきます。 ・できるだけ子どもたちの楽しい活動の様子を、クラスだよりにて発信していきます。 又、ハグノートでも発信していくようにしていきます。
	⑯ 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	31	0	0	2	・事前に子どもの写真をどの範囲まで使用していいのか、確認のプリントが配られた	
非常時等の対応	⑯ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	31	0	0	2	・ハグノートの緊急連絡というところに連絡が来たら、自宅から迎えに行くという訓練が実施された ・コロナ、台風、地震対応についてのおたよりも事前にももらった	感染症が出た際は、ハグノートにて迅速に伝えていきます。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	32	0	0	1	・防災訓練の他にも、子どもを直接自宅から迎えに行く、引き渡し訓練が行われた	

満足度	(22) 子どもは通所を楽しみにしているか	30	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日楽しく通ってくれている ・朝リュックを持つのを見るとニコニコで玄関に行く ・連休明けなど朝泣いていたこともあるが、帰ってくるととても楽しかったようで、毎回機嫌よく帰ってくる 	子ども達がぱぶらで楽しく過ごせるよう、日々の保育の充実を図っていきます。
	(23) 事業所の支援に満足しているか	32	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が親切に接してくれて感謝している ・色々な事を訓練してもうえてとても助かっている ・いつもありがとうございます。満足で意見が思いつかない ・とても満足している。先生方の手厚い支援のおかげで、今までできなかつたことができるようになった。とても感謝している 	家族の状況やニーズを把握しながら、ぱぶらとしてできることを検討していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。